

PRESS RELEASE



2014年6月18日

各 位

昭和シェル石油株式会社
ソーラーフロンティア株式会社

昭和シェル石油グループ 太陽電池事業資産等のソーラーフロンティアへの統合を検討

昭和シェル石油株式会社(本社:港区台場 2-3-2、代表取締役会長グループ CEO 香藤 繁常、以下「昭和シェル」)は、昨日の取締役会において、太陽電池事業に関する研究開発資産等を、全額出資会社であるソーラーフロンティア株式会社(本社:港区台場 2-3-2、代表取締役社長 玉井裕人、以下「ソーラーフロンティア」)に一元化することを、基本方針として決議しました。この統合は、ソーラーフロンティアのスタートアップ期から成長期に向けたさらなる一歩となります。

昭和シェルグループの太陽電池研究は 1970 年代のオイルショック直後に始まりました。その後、1993 年には、銅・インジウム・セレンを使った CIS 薄膜太陽電池技術の研究開発を、NEDO(独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構)からの委託研究としてスタートさせ、現在ではギガワットクラスの年産能力を有します。一方で、生産から販売にいたる資産はソーラーフロンティアに帰属していますが、研究開発資産については、昭和シェル内に留まってきました。この状況を受け、このたび、先端技術を磨く太陽電池事業に関する NEDO と共同開発してきた知的財産等を含む研究開発資産を、ソーラーフロンティアへ統合する基本方針を決議したものです。

昭和シェル石油グループは、この資産統合を通して、国内外の太陽電池産業の中で勝ち残る柔軟かつ効率的な体制を目指していきます。さらには、ソーラーフロンティアの競争力を高めると同時に、昭和シェルグループ全体の企業価値を向上させてまいります。

本件に関する問い合わせ先

昭和シェル石油株式会社 広報部 渋谷 TEL:03-5531-5793
ソーラーフロンティア株式会社 広報部 吉田 TEL:03-5531-5792